

# 魚を育てる漁港に「へんしーん」

【背景・目的・成果】 漁港は漁船の係船や水産物の水揚げといった産業活動の場であると同時に、「魚の棲みか」にもなっているといわれてきました。しかし漁港が持つ魚の保護・育成効果は、今まで客観的に評価できていませんでした。そこで漁港区域を総合的に調査し、魚の「棲みやすさ」を評価しました。この指標を用いると、「棲みやすさ」を高めるためのいろいろな手法について、その効果を予測することができます。



アマモ場にマアジの群れ



漁港区域を総合的に調査



アマモ場とイシダイの群れ

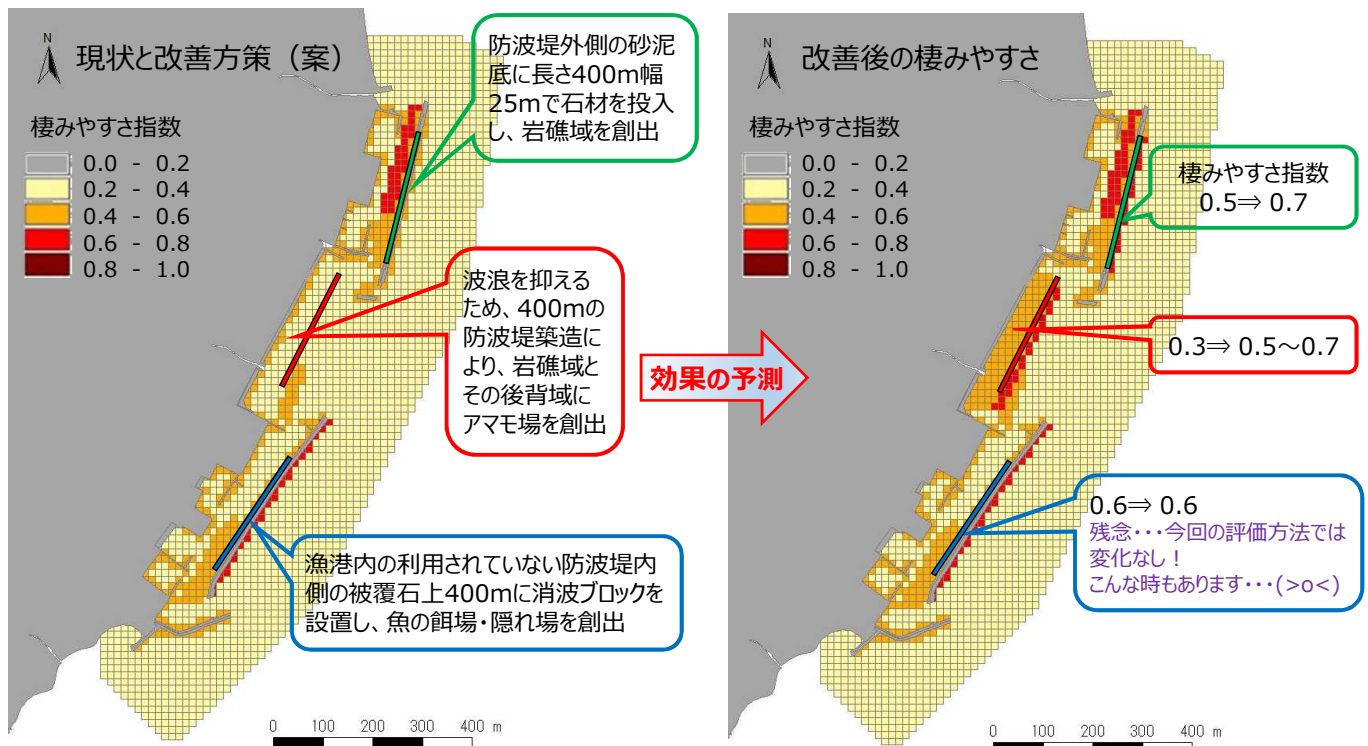


防波堤外側の捨て石にシロメバル・スズメダイの群れ



防波堤内側にシロメバルの群れ

魚の棲みやすさを0（棲みにくい）～1（棲みやすい）の数値で評価し、20mメッシュで色分けしました。



【技術の活用】 漁港が持つ「魚のゆりかご」としての機能を高める方法を提案していきます。